

宇良関とはっけよい!

宇治支援学校訪問、子らと交流



高等部の生徒と相撲を取りながら触れあう宇良関
(宇治市広野町・宇治支援学校)

大相撲小結の宇良関が31日、宇治市広野町の宇治支援学校を訪れ、児童生徒と交流した。大歓迎を受け、まわし姿で四股を披露したほか、子どもたちの相撲の相手をしたり、一緒に体操をしたりして、相撲の楽しさを伝えた。

宇良関は大阪出身で、鳥羽高(京都市南区)で相撲に打ち込んだ。同支援学校の高等部くらし健康コースが授業で相撲を取り入れていることから、宇良関の恩師の田中英一さんを通じて依頼し、訪問が実現した。

体育館では小学部と中学部に分かれて交流した。宇良関は「好きな食べ物は何ですか。1・5キは食べます」と話し、会場を沸かせた。子どもたちと一緒に「よいしょっ」と四股を踏んだり、代表の子どもとぶつかり稽古をしたりした。くらし健康コースの生徒6人とも、一人一人に声をかけながら「取り組み」を楽しんだ。

宇良関は小結に昇進して臨んだ初場所を28日に終えたばかりだが、約2時間にわたって子どもたちと触れ合い、気さくにハイタッチや写真撮影に応じた。

(目下田貴政)